



「生き活きしらぬか日帰り温泉事業」。昨年は10月4～6日の3日間で計144人が参加しました。

- (8) 岬の森東山公園の再整備の推進
- (9) 公園施設長寿命化計画の推進
- 3 健康で思いやりのある社会づくり**
- (10) 上水道・簡易水道・飲用水道供給施設の整備の推進
- (11) 公共下水道の整備の推進および普及率の向上
- (12) 公共下水道施設長寿命化計画の推進
- (13) 合併処理浄化槽の設置整備の推進
- (14) 脱炭素社会の実現に向けた施策の推進
- (15) 鉄路管内市町村による「自然の番人宣言」の推進
- (16) 「ふるさとエコ&クリーンしらぬか」の推進
- (17) 「ふるさとエコ&クリーンしらぬか」の推進
- (18) 「ふるさとエコ&クリーンしらぬか」の推進
- (19) 「ふるさとエコ&クリーンしらぬか」の推進
- (20) 「ふるさとエコ&クリーンしらぬか」の推進
- (21) 「ふるさとエコ&クリーンしらぬか」の推進
- (22) 成年後見制度の推進
- (23) 映画シサムのPRへの支援
- (24) アイヌ施策の推進
- (25) 映画シサムのPRへの支援

人口の拡大による地域活性化に資する取り組みを進めています。

高齢者福祉については、本年度から聴力機能が低下した高齢者を対象に、補聴器購入費用の一部を助成するとともに、75歳以上の住民税非課税者を対象に、入院に伴う費用の一部を助成し、高齢者福祉の増進に努めます。

また、「生き活きしらぬか事業」等の取り組みを引き続き推進するとともに、タクシー券の増額など、より一層の交流機会の確保と福祉の増進に努めます。

障がい福祉については、住み慣れた地域で安心して暮らしがけられるよう、事業者や関係機関と連携を図りながら、引き続きその推進に努めています。

本町は「ふるさと教育」を教育行政の基軸とし、これまで心の角度を変えてまちを見つめ直すこと、他人のために汗を流すこと、足元の材料を耕し直すことを行動目標とし、さまざまな取り組みを進めてきました。

総合教育会議における情報の共有化など、教育委員会と一層の連携を図りながら、引き続きその推進に努めています。

不安定な国際情勢を要因とする物価や原油価格の高止まりなどにより、事業者の経営は依然厳しい状況が続いています。

生産者の所得向上と地域経済の発展に向け、各々の分野における農業について、基幹である酪農・畜産経営の安定化を図るために、農業の基本である土づくりを推進し、良質な自給飼料の生産拡大に取り組む生産者に対して、その整備に係る費用の一部を支援します。

人口の拡大による地域活性化に資する取り組みを進めています。

高齢者福祉については、本年度から聴力機能が低下した高齢者を対象に、補聴器購入費用の一部を助成するとともに、75歳以上の住民税非課税者を対象に、入院に伴う費用の一部を助成し、高齢者福祉の増進に努めます。

また、「生き活きしらぬか事業」等の取り組みを引き続き推進するとともに、タクシー券の増額など、より一層の交流機会の確保と福祉の増進に努めます。

障がい福祉については、住み慣れた地域で安心して暮らしがけられるよう、事業者や関係機関と連携を図りながら、引き続きその推進に努めています。

本町は「ふるさと教育」を教育行政の基軸とし、これまで心の角度を変えてまちを見つめ直すこと、他人のために汗を流すこと、足元の材料を耕し直すことを行動目標とし、さまざまな取り組みを進めてきました。

総合教育会議における情報の共有化など、教育委員会と一層の連携を図りながら、引き続きその推進に努めています。

人口の拡大による地域活性化に資する取り組みを進めています。

高齢者福祉については、本年度から聴力機能が低下した高齢者を対象に、補聴器購入費用の一部を助成するとともに、75歳以上の住民税非課税者を対象に、入院に伴う費用の一部を助成し、高齢者福祉の増進に努めます。

また、「生き活きしらぬか事業」等の取り組みを引き続き推進するとともに、タクシー券の増額など、より一層の交流機会の確保と福祉の増進に努めます。

障がい福祉については、住み慣れた地域で安心して暮らしがけられるよう、事業者や関係機関と連携を図りながら、引き続きその推進に努めています。

本町は「ふるさと教育」を教育行政の基軸とし、これまで心の角度を変えてまちを見つめ直すこと、他人のために汗を流すこと、足元の材料を耕し直すことを行動目標とし、さまざまな取り組みを進めてきました。

総合教育会議における情報の共用化など、教育委員会と一層の連携を図りながら、引き続きその推進に努めています。

人口の拡大による地域活性化に資する取り組みを進めています。

高齢者福祉については、本年度から聴力機能が低下した高齢者を対象に、補聴器購入費用の一部を助成するとともに、75歳以上の住民税非課税者を対象に、入院に伴う費用の一部を助成し、高齢者福祉の増進に努めます。

また、「生き活きしらぬか事業」等の取り組みを引き続き推進するとともに、タクシー券の増額など、より一層の交流機会の確保と福祉の増進に努めます。

障がい福祉については、住み慣れた地域で安心して暮らしがけられるよう、事業者や関係機関と連携を図りながら、引き続きその推進に努めています。

人口の拡大による地域活性化に資する取り組みを進めています。

3 健康で思いやりのある社会づくり

「ぬか」の推進

誰もが心身共に生き生きと元気に暮らしていくためには、乳幼児期から高齢期までそれぞれの段階における総合的かつ計画的な健康づくりが重要です。

国が目標としている「すべての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」に向けて、次予防を推進しています。

また、本年度から生活習慣病予防に効果的なウォーキングを推奨し、歩数をポイント化する事業に取り組み、運動に対するきっかけや習慣化を促進します。

成人保健については、各種健診のほか、脳ドックや肺CT検査などの検診により、疾病の早期発見から適切な治療につながっていることから、より多くの方に受診していただけるよう周知の徹底や検診体制の充実を図ります。

感染症対策については、帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成対象

や習慣化を促進します。

成年保健については、各種健診のほか、脳ドックや肺CT検査などの検診により、疾病の早期発見から適切な治療につながっていることから、より多くの方に受診していただけるよう周知の徹底や検診体制の充実を図ります。

母子保健については、助産院での宿泊・通所型の産後ケアに加え、不妊治療費等助成事業に宿泊費の助成を追加するなど、安心して子どもを産み育てることができる環境の充実と、妊娠から出産、子育てまで切れ目のないサポートを総合的に提供していきます。

子育て支援については、来年度

助成を追加するなど、安心して子どもを産み育てることができる環境の充実と、妊娠から出産、子育てまで切れ目のないサポートを総合的に提供していきます。

地域福祉については、終わりの

見えないエネルギー価格と物価の高騰を踏まえ、福祉灯油等購入費の助成額を増額します。

アイヌ政策については、白糠ア

イヌミユージアム「ポコロ」と、「ウレンンパチセ」の2つの拠点で

アイヌ民族の歴史や伝統文化への理解の深化を促進するとともに、

アイヌ文化の継承・発展と、交流

の取り組みを進めていきます。

地域福祉については、終わりの

見えないエネルギー価格と物価の高騰を踏まえ、福祉灯油等購入費の助成額を増額します。

少子化対策については、子ども

の誕生を祝福する出産祝い金の支

給額を増額するとともに、結婚祝

い金を創設します。

幼児教育・保育については、希望する全ての子どもを認定こども園で受け入れ、保護者の就労と子育ての両立を支援するとともに、

幼稚期における「平仮名の読み

や「数と計算」の定着など、0歳

から5歳までの一貫した幼児教育

により義務教育との円滑な接続へ

の取り組みを進めていきます。

地域福祉については、終わりの

見えないエネルギー価格と物価の高騰を踏まえ、福祉灯油等購入費の助成額を増額します。

少子化対策については、子ども

の誕生を祝福する出産祝い金の支

給額を増額するとともに、結婚祝

い金を創設します。

少子化対策については、子ども

の誕生を祝福する出産祝い金の支

給額を増額するとともに、結婚祝